

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		クレヨン スマイル		公表日		2026年 2月 28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用人数や子どもの特性、活動内容に応じて環境を整え、十分なスペースを確保できるよう工夫しています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		子どもの人数や特性に応じて職員配置を行い、子ども一人ひとりに目が行き届くよう工夫しています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもが見通しを持って過ごせるよう、活動ごとにスペースを分けるなど環境構成を工夫しています。また、危険箇所への配慮を行い、安全に過ごせる環境づくりに努めています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		子どもが快適に過ごせるよう、定期的な清掃や環境整備を行っています。また、活動や遊びの内容に合わせて空間の使い方を工夫し、落ち着いて過ごせる環境づくりに努めています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもの状況や気持ちに応じて、落ち着いて過ごせるスペースを確保し、必要に応じて個別で過ごせる環境づくりに努めています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的な会議や日々の振り返りを通して、職員全体で目標設定や改善点を共有し、業務改善に取り組んでいます。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価結果は職員間で共有し、支援内容や運営の改善に活かしています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議やミーティング等で職員の意見を共有する機会を設け、その内容を業務改善につなげています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		外部からの評価や助言を参考にし、職員間で共有しながら業務改善につなげています。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修や法人内研修への参加機会を確保し、研修内容を職員間で共有することで支援の質の向上に努めています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援内容を見直ししながら、必要に応じて保護者様へ周知しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的なアセスメントや保護者との面談を通してニーズや課題を把握し、職員間で共有しながら放課後等デイサービス計画の作成に反映しています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に、支援に関わる職員間で情報共有や話し合いを行い、子どもの最善の利益を考慮した放課後等デイサービス計画の作成に努めています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		放課後等デイサービス計画を職員間で共有。支援記録を活用し、計画に基づいた支援が行われているかを確認しながら支援を行っています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		連絡帳や必要に応じて電話やラインにて確認。定期的な支援会議等で状況を確認し、こどもの成長や変化に応じた支援につなげています。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		作成した放課後等デイサービス計画は職員間で共有し、定期的な見直しを行いながら子どもの成長や変化に応じて支援内容を調整しています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員で話し合い準備が必要なものは分担しながら行っています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子どもの状況や参加状況を踏まえ、同じ活動でも内容や方法を工夫しながら実施している。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		活動後の様子や記録を基に職員間で共有を行い、子どもの状況に応じて活動内容の見直しを行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に職員間で打合せを行い、その日の利用児童の支援内容を確認し職員全体で共通理解を持って支援にあたっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後に職員間で振り返りを行い、児童の様子や支援の気付きについて共有し、次回の支援の改善につなげています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援内容や児童の様子を記録し、職員間で共有することで支援の検証と改善につなげています。	
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的モニタリングを実施し、日々の記録や児童の様子を踏まえて支援の達成状況や課題を確認しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインの4つの基本活動を意識し、子どもの状況に応じて活動を組み合わせた支援を行っていきけるよう配慮しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		日々の活動の中で子どもが自分で決める経験を積み重ねることで、自己決定する力の育成につなげています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サービス担当者会議や関係機関との会議には、児童の状況をよく理解している職員が参加し、日頃の様子や支援内容について情報共有を行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の保健・医療・福祉・教育等の関係機関と必要に応じて連携を図り、情報共有を行いながら支援が行える体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校との情報共有（年間計画や行事予定、下校時刻等の確認）を行い、送迎時の引き継ぎや必要に応じた連絡調整を行うことで、円滑な支援につなげています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		現在該当する児童はいません。	今後、該当する児童がいる場合には関係機関との情報共有に努めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		現在該当する児童はいません。	今後、該当する児童がいる場合には情報を提供していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		地域の児童発達支援センターと連携を図り、必要に応じて助言や研修を受ける機会を設けることで、職員の専門性の向上や支援の質の向上に努めています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		現在、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を設けていません。	もし放課後児童クラブや児童館等との交流や地域の子どもと活動する機会があった時は、保護者の意向を尊重しながら慎重に検討し、安心して参加できる形で実施できるよう配慮していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会の子ども部会に参加し、関係機関との情報共有や地域の課題についての意見交換を行っています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日頃から送迎時のやり取りや連絡帳等を通して保護者様と子どもの様子を伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持ちながら支援につなげています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		送迎時や連絡帳、面談などを通してご家庭での困りごとを聞き取り、子どもの特性に合わせた関わり方を一緒に考えています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に詳しく説明を行い、説明後に不明点の確認を行い、不明点があればすぐに答えています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもの最善の利益を優先する観点から、家庭・学校等の関係機関とも連携しながら支援方針を検討しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		放課後等デイサービス計画の作成後、保護者様に計画書を提示しながら支援目標や具体的な支援内容について分かりやすく説明しています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時や連絡帳、電話などを通して日頃から保護者様とのコミュニケーションを大切に、子育てや発達に関する悩みを相談しやすい関係づくりを行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		茶話会を実施するほか、夏祭りやクリスマス会などの行事に親子やきょうだいで参加できる機会を設け、保護者様同士やきょうだい同士が交流できる場となるよう支援しています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に重要事項説明書にて苦情相談担当窓口を案内し、苦情が申し立てられた時は丁寧な聞き取りを心がけ迅速な対応を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		月1回おたよりを発行するとともに、ブログを活用して活動の様子や行事予定等の情報発信を行い、保護者様が事業所の取り組みを理解しやすいよう努めています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		廃棄する書類はシュレッダーを使用し、個人情報記載されている書類は鍵付きの書庫に保管しています。また職員にも入社時に守秘義務の周知徹底を行っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもの特性や発達段階に応じて、分かりやすい言葉かけや視覚的な支援等を用いながら意思の疎通を図っています。また、保護者様とは連絡帳や送迎時の会話等を通して情報共有を行い、分かりやすい情報伝達に努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	現在は地域住民を招待する行事の実施には至っていません。	今後は、行事等を通じた地域交流の機会づくりを検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを策定し、保護者様へはお便りにて周知を行い、研修も行っていきます。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPの策定や定期的に災害・火災・地震訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		利用開始時に保護者様から健康状態や服薬状況、既往歴、てんかん発作の有無等について聞き取りを行い、職員間で情報共有しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様より指示を頂いたり、検査表の写しを頂くこともあります。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に沿って事故防止や緊急時対応について職員間で共有している。避難訓練や安全に関する研修を実施するとともに、日常的に安全点検を行い、安全管理に配慮した支援を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画に基づき、事故防止や緊急時対応の内容について保護者様に周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例集を作成し共有を行い、職員間で原因や予防対策などを話し合い再発防止につとめています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		外部機関の方を招いての事業所内での研修会を実施して、保護者様へは重要事項説明書にて説明を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に説明し、重要事項説明書や必要に応じて支援計画にも記載しています。		